



2025年6月25日

当行グループ会社によるKFGグループ向け電力供給について

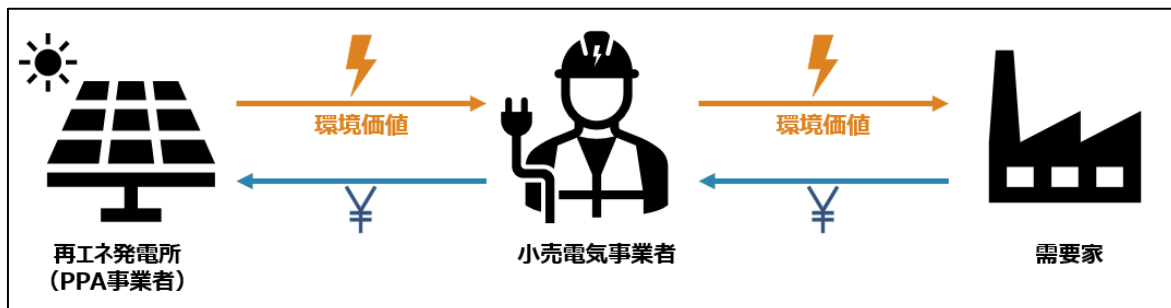
当行グループ会社である株式会社KSエナジー（代表取締役社長 西田 貴之、以下「KSエナジー」という）は、九州内で太陽光発電所を開発し、KFGグループ向けに再生可能エネルギーを供給する「オフサイトPPA」に取り組むこととなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は今後もグループ一体で、脱炭素社会の構築に向けた取り組みを加速させてまいります。

記

1. オフサイトPPA（Power Purchase Agreement）について

オフサイトPPAとは、PPA事業者が需要家の敷地外に再エネ発電所を設置し、小売電気事業者を通じて、長期間にわたり需要家へ再エネ電力を供給する契約（自家消費型モデルの一つ）。



PPA：Power Purchase Agreement の略。電力購入契約の意味で、電力の需要家が所有する土地や建物にPPA事業者が発電設備を設置し、その設備で発電する電力を需要家が購入する自家消費型モデルの一つ

2. KFGグループ向けオフサイトPPAの概要

電力需要家	九州FG・肥後銀行・鹿児島銀行
設置場所	九州内8ヶ所
太陽光パネル出力合計	2,818kW
年間想定発電量	約320万kWh
年間想定CO ₂ 削減量	約1,200t-CO ₂
電力供給開始時期（予定）	2025年11月

(1) 取組内容

九州内 8 ヶ所、2,818kW の太陽光発電所を建設し、K F G グループ（九州フィナンシャルグループ、肥後銀行、鹿児島銀行）に再エネ電力を供給

(2) 取組意義

- ・追加性のある再エネ電源の開発、電力の地産地消により地域の脱炭素化を推進
- ・K F G グループの使用電力の再エネ化により、2030 年のカーボンニュートラル達成に大きく貢献

(3) 取組の効果

2024 年度K F G グループ使用電力量 約 2,190 万 k W h の内、約 300 万 k W h を供給し、約 1,200 t の CO₂排出量を削減

【本件スキーム】



3. 取り組みの背景と目的

私たちの地元である熊本、そして九州は、太陽光発電などの再生可能エネルギー導入の先進地域であり、今後はエネルギーの地産地消を進めていく必要があります。

当行はK S エナジーを通して、ヒト・モノ・カネ・グリーンエネルギーの域内好循環を生み出し、九州フィナンシャルグループおよび地域のカーボンニュートラル・脱炭素化の実現に積極的に貢献してまいります。

以 上

《本件に関するお問い合わせ》
株式会社K S エナジー
未来投資グループ
電話 096-327-8080

うるおいある未来のために。

肥後銀行